



は何件あるか。

中絶により多くの命が失われ、多くの青少年が心身ともに傷ついている現実に心を痛めている。

現在作成中の青少年育成プランに、性教育について十分に盛り込む必要があると考えるが。

答 過去5年間の10代の人工妊娠中絶は、13年度154件で、その後106件、125件、106件、17年度が95件という状況であり、成長過程の青少年に精神的、身体的に大きなダメージを与える。青少年育成プランで、思春期の性などの悩みや不安に対する適切な指導や、正しい情報が受けられるよう検討する。

**障害者負担の軽減を
(日本共産党)**

問 10月からの障害者自立支援法の本格実施は、障害者の生活に深刻な影響を与えている。市の実態調査でも、入所施設では1.4倍、通所施設では21.7倍もの負担増となっており、利用者負担の軽減は急務である。

公益負担の撤回を国に強く求めるとともに、食費負担など生活費は、市独自の施策を講じ利用者全

員を無料とし、市独自の負担軽減策を抜本的に拡充すること。

答 負担が大きくなり過ぎないように、独自の負担軽減策を講じ、制度上の軽減措置が適切に運用されるよう、指導や相談支援に努めている。利用者負担は、国の動向を見極める中で、新たな負担軽減策などを検討する。

◆関連質問

- ・障害者施策の充実 (水曜会)
- ・障害者の所得保障と費用負担軽減措置を (市民連合)
- ・障害者の費用負担の現状を考慮した施策 (誠友会)



小規模作業所での作業の様子

中心市街地活性化策(水曜会)

問 平成11年に策定された中心

市街地活性化基本計画に基づく事業の効果は。

また、改正中心市街地活性化法の施行により新たな基本計画を策定するに当たり、施策の選択と集中を図り、にぎわいのあるコンパクトシティを実現するため、どのような方向に導いていく考えか。

答 実施した事業により、市街地の整備、改善が図られ、商業の活性化においても、回遊性の向上やにぎわいの回復など、一定の成果があったと考える。

また、本市のコンパクトシティの考え方は、現在見直しを進めている都市マスタープランで、第四次総合計画との整合性や、中心市街地活性化の観点も踏まえ検討する。

◆関連質問

- ・駅周辺地区および内港地区の今後のあり方 (公明党)

**生活バス交通の維持・確保を
(市民連合)**

問 中国バス(株)は、市内バス路線の採算割れが続いたため、(株)整理回収機構の企業再生スキームを活用し、両備資本が新会社を発足



市民生活を支える生活バス交通

させ、中国バス(株)を買収することだが、路線は維持できるのか。

答 本年6月から進められていた中国バス(株)の私的再生手続きは、12月21日に予定されている新会社への事業譲渡により、大きな区切りを迎える。

事業譲渡後の生活バス交通の維持確保については、新会社においてもこれまでと変わらないバス運行がなされる旨を聞いている。12月22日に、本市として将来にわたるバス路線が確保されるよう強く要請する。

食育の推進に向けて(公明党)

問 食育に対する関心は高まっておりますが、県では食育基本条例を制定し、10月19日を「ひろしま食育

※コンパクトシティ：多様な都市機能がコンパクトに集積した、子どもや高齢者を含めた多くの人にとって暮らしやすい、歩いて暮らせる、にぎわいあふれるまちづくりを目指す都市像の一つ。